

議案第21号

令和元年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

上記の議案を提出する。

令和2年8月12日

鳥栖市教育委員会
教育長 天野 昌明

(提案理由)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、公表する必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第2条第1項第20号の規定によりこの案を提出する。

令和元年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

1 根拠法：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

- ・教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- ・教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

- ・教育委員会会議と教育委員の活動状況
- ・鳥栖市教育プランに掲げる12施策および主な取組

3 点検・評価の方法

教育委員会による自己評価及び学識経験者2名（福岡女学院大学副学長伊藤文一氏、久留米大学教授徳田智代氏）による外部評価を実施

4 評価の経緯

令和2年4月定例教育委員会	点検評価の進め方、学識経験者候補について承認
令和2年4月中旬	学識経験者への外部評価依頼
令和2年5月中旬～	自己評価の実施
令和2年6月定例教育委員会	点検評価報告書（自己評価案等）の協議
令和2年6月下旬	学識経験者への自己評価等の内容説明
令和2年7月中旬～	外部評価の実施、点検評価報告書（最終案）の作成
令和2年8月定例教育委員会	点検評価報告書（最終案）の審議

5 点検評価報告書（最終案）

別冊のとおり

6 今後の予定

令和2年9月 市議会に報告書を提出・市ホームページにて公表

7 外部評価における主な指摘

(1) 教育委員会会議と教育委員の活動

- ・教育委員会事務局の職員にも「自らの専門性の向上につながる研修等に充てる時間、自らの心身の健康の保持につながる余暇活動等に充てる時間」の確保を検討してほしい。

(2) 鳥栖市教育プランに掲げる事業

【学力向上】

- ・各中学校ブロックで、学力向上につながる小中連携の在り方について、さらに協議を深めていただきたい。
- ・デジタル教科書は教科の特徴によって活用の仕方や度合いが違うのではないかと思うが、効果的な活用がさらに進むよう期待する。

【豊かな心】

- ・新型コロナウイルスの影響により、子どもたちの不安やストレスが高まっていることが懸念される。引き続き濃やかな支援をお願いしたい。

【特別支援】

- ・特別支援学級の在籍人数の増加に対応するため、専門的な知識や技術、そして「人」が重要であると考えます。適任者の確保やさらなる研修の充実をお願いしたい。
- ・中学校の通級指導教室の設置を引き続きお願いしたい。

【家庭・地域との連携】

- ・コミュニティ・スクールを中心に地域とのつながりが増えてきている。引き続き意識調査等を実施していただき、成果と課題の報告をお願いしたい。

【生涯学習】

- ・法人の力を借りるなどして、組織的に子どもたちに「体験」させる場を与えてほしい。

【人権教育】

- ・小学校から中学校・高等学校・社会に至るまで人権教育が根付く教育をお願いしたい。

【歴史・文化財】

- ・大学と包括協定を結ぶなど、学生のアイデアも取り入れながら積極的な情報発信を進めていただきたい。
- ・小中学校への学習支援に関して、依頼される学校はまだ一部にとどまっているとのことなので、さらに支援の依頼が増え、「児童・生徒たちが郷土の歴史や文化遺産を学び、鳥栖市民であることの誇りを醸成」されることを期待する。
- ・様々な災害が発生している昨今なので、引き続き防災面への措置についても検討をお願いしたい。